積極的に声あげたい

繁華街デモに反響

静大有志・弁護士九条の会 集会開く

安全保障関連法案に反対する静岡大学有志の会と静岡県弁護士九条の会は9日、静岡市葵区で、戦争法案を止める集会・アピールウオークを行いました。弁護士、市民5300人が繁華街をアピールして歩くと、沿道で足を止めて見る反応が多くありました。

静大関係者と弁護士を先頭に、戦争法案反対を訴えるアピールウオーク＝9日、静岡市葵区

集会で静大有志の会事務局の石渡聞志教授は、「安全保障関連法案の強行採決に反対し廃案を求める声明」への呼びかけ人・賛同者が222人（現職教員、退職者、現役学生、卒業生など）になったと発表。卒業生に賛同を呼びかけている元学長の佐藤博明氏は、「声明は大学で学び研究した者たちの魂の叫びだ」と強調しました。

元副学長の山本義彦氏は、「戦争法案は廃案しかない。米国要求にそったもので、戦争法案の次にくるのは憲法9条廃棄。対米従属国家でいいのか」と訴えました。

河村正史・県弁護士九条の会会長は、「政府が自衛の根拠としてあげる砂川事件最高裁判決は集団的自衛権には触れていない。『現実で議論しても負ける』から強行しよう」という政府を止めるためみんなで声をあげよう」と呼びかけました。

参加した磐田市の女性（73）は「憲法を無視した法案を押し通そうなんて絶対に許せない。積極的に集会に参加して声をあげ続けたい」と話していました。

「声明」呼びかけ人の日本共産党の鈴木ちか参院議員選挙区候補が参加しました。

戦争法案廃案しかない

元気に唱和 座り込み 新潟

「戦争法案廃案！総がかり行動新潟実行委員会」は9日、新潟市で戦争法案成立阻止の座り込み行動を始めました。7月に次ぐ2回目で、11日まで行われます。スタート集会には70人が参加しました。

共産、民主、社民、生活の党、緑・にいがた の野党5党の代表が戦争法案阻止の決意を述べました。共産党の にしき 議員は「参院での安保法案審議で『憲法違反』『戦闘地域での後方支援』『自衛隊の戦争』の三つの問題点が明らかになった。国民の6割が反対している」と述べ、「大きな拍手が送られました。

戦争法案は廃案しかない」と述べ、大きな拍手が送られました。

各団体から座り込みの決意を表明。教職員組合の代表は「『教え子を戦場に送らない』を合言葉にたたかいを強める」、生協労組の女性は「平和な毎日の生活を送るためにも安倍政治の暴走にストップを」と訴えました。

最後に民青同盟員のリードでコールが元気よく唱和され、座り込み行動に移りました。

座り込み行動スタート集会に参加した人たち＝9日、新潟市

強風のなか「9条守ろう」

富山・高岡 「平和の鐘」つく

「第9回9月9日全国いっせい『9条守れ』」高岡行動が9日、富山県高岡市の二上山にある「平和の鐘」でとりくまれました。高岡地区9条の会主催。30人が参加しました。

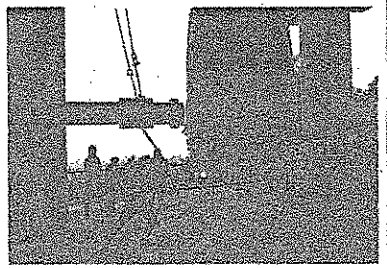
鐘つきに先立ち、高岡原水連と平和委員会代表の氏原幸八さんが、「憲法9条を絶対に死守しよう」とあいさつしました。

台風の接近で強風が吹くなか、参加者は午前9時9分から、「戦争法案絶対反対」「9条を守ろう」「安倍政権打倒」など、一音ずつ平和への願いをのべて鐘をつきました。

参加した広村勝さん（71）は、「最後までがんばって戦争法案を廃案にもちこみたいと思って参加した」と話していました。

同会は同日夕も、高岡大仏前公園で講演会を開きました。

「富山市でも「9条の会」「富山県連絡会」が大法寺で鐘つきをしました。


「戦争法案廃案」「9条守れ」の願いを込めて鐘をつく参加者＝9日、富山県高岡市

戦場の血で白衣汚さぬ

静岡 県看護連絡会が宣伝

静岡県の医労連、自治労連、厚生連、民医連で構成する看護師要求の実現をめざす静岡県連絡会（県看護連絡会）は5日、静岡市葵区で「看護師増員・勤務環境改善」と「戦争法案反対」を訴える宣伝を行いました。

堀田有朋子県看護連絡会代表らは「看護師不足のため私たちの職場では『医療ミス・ニアミス』経験者が9割。安全・安心の看護実現のための署名で、「命を守る看護師は戦争法案に断固反対。再び戦場の血で白衣を汚しません」などと訴えました。

白衣の看護師たち38人が横断幕を広げて協力を呼びかけると、多くの人が立ち止まって署名し激励を寄せました。

署名した磐水区の男性（74）は「孫の妻が看護師をやっている。仕事が大変そうで続けられるか心配しているが、こんどは戦争に動員される恐れまで出てきた。現代の戦争はミサイルが直接日本まで飛んでくる。外国を威嚇するようなことはやめて、9条を守ってほしい」と話していました。

9/11
夕刊